



▲企業のバスを利用して通勤する人たち（土山駅前）

町の労働実態調査を

答 弁 = 最大限努力したい
町 長

質問 播磨町の平成17年失業率は7.5%で、全国平均より高い数値である。失業者が多く、ひどい労働者の状態だが、平成22年度の国勢調査労働実態調査と同時に、当町独自で労働状態、正規社員、契約社員、派遣労働などの調査は。
答 弁 平成22年度の国勢調査で出てきた数字について町が出来ること、関わることがあれば最大限努力したい。
質問 町内の企業に対し、派遣切りをやめ正社員化を求めるときは。
答 弁 現時点では次世代育成支援計画、少子化対策について就労安定のお願い程度になる。



日本共産党代表

中西 美保子

資格証明書の見直しを

質問 国民健康保険の資格証明書の発行が275世帯と依然と多く、当町の認める特別な事情を見直すべきでは。
答 弁 資格証明書の発行は収納対策としてとらえていただきたい。特別な事情についても国民健康保険法施行令に長が特に認めるといふ具体的な判断基準を設けているが、長の自由裁量権を認めたものではない。
質問 資格証明書の高校生に町単独で保険証の発行をすべきでは。
答 弁 資格証明書の高校生は14名。国において本年7月に短期証が交付されること決定している。

トリアクシオン接種の補助を

質問 県が公費で費用の25%を補助する決定をした。対象は2歳未満で4回接種、費用は3万円。しかし、市町が補助をすることが前提となっている。新聞報道では、現在22市町が補助をする表明をしている。三木市のように町でも補助を増やし、自己負担なしにするべきでは。
答 弁 今後、具体的な実施方法などは、加古川市や稲美町、医師会と協議を行っていききたい。
その他の質問
▼中学校給食の進ちょく状況と今後の対策は。



▲生徒が配膳する食卓方式の給食（島根県）

中学校給食の実施は

答 弁 = 本年度3学期から予定
教育長



青雲21代表

岡田 千賀子

質問 食生活の変化や食を大切にしている心、食文化が失われつつあることが懸念されています。この結果、生活習慣病の増加なども憂慮されており、食の安全の問題も生じている社会的背景での中学校給食の役割とは。
答 弁 中学校給食は時代の要請。新しい中学校学習指導要領では、「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」が明記されている。成長の著しい中学校時期に安全で栄養バランスのとれた給食をすることで、知育・徳育・体育の向上も期待される。
質問 平成21年度開催された実施計画等検討委員会が出された意見を教育委員会で協議されたのか。

答 弁 具体的な実施計画などについて、様々な視点から出された意見などをもとに審議を重ね、「播磨町中学校給食実施計画」を策定した。
質問 実施計画の内容は。
答 弁 学校現場の負担を軽減する配慮をしながら、「温かくて、個人差に対応でき、安全で安心できる給食」を平成22年度3学期に実施できるように学校での体制づくりに取り組む。
質問 実施計画に基づく本年度の中学給食予算内容は。
答 弁 配膳室及び給食用リフトの新設。保冷庫の設置、食器などの備品購入、献立作成を担う栄養士・校舎各階で給食準備補助を行う配膳員の配置

を考えている。

改築中の保育体制は

答 弁 = 町長

質問 播磨保育園改築中における保育と安全対策は。
答 弁 旧園舎の一部を活かしつつ、園庭に仮設園舎を建て通常の保育を実施する。前面道路にはガードマンの配置や保育士による見守り及び安全指導などの対策を計画。
質問 一時預かり保育など特別保育の実施は。
答 弁 変更なく実施する。

その他の質問

▼防災体制の確立を
▼プレミアム商品券で経済の活性化を
▼地域交通の利便性は
▼小さな積み重ねから大きなエコへ